

アドビシステムズ社、 ADOBE eLEARNING SUITE と ADOBE CAPTIVATE 4 を発表

教材作成ツールの統合によってこれまでにない生産性の向上を実現

【2009年1月27日】

アドビシステムズ株式会社は、トレーニングの専門家、教育担当者およびビジネスユーザーが、Web、デスクトップ、モバイル機器および学習管理システムをはじめとする、さまざまなメディア向けに視覚的効果の高い学習体験を提供するeラーニングコンテンツ作成ソリューションである「Adobe eLearning Suite (アドビ eラーニングスイート)」(Windows®版)の日本語版の提供が、2009年3月上旬から、アドビストア (<http://www.adobe.com/jp/store/>) を通じて開始されると発表しました。なお、Adobe Captivate 4 単体製品は、全国のアドビ製品取り扱い販売会社においても提供されます。アドビストアでは本日より予約受付を開始します。

この新製品は、新バージョンの Adobe Captivate™ 4 や、Adobe Photoshop® CS4 Extended、Adobe Acrobat® 9 Pro、Adobe® Presenter 7、Adobe Soundbooth® CS4、Adobe Bridge CS4、Adobe Device Central CS4、Adobe Flash® CS4 Professional と Adobe Dreamweaver® CS4 の eLearning 拡張機能と緊密に統合することにより生産性を向上することができます。

アドビシステムズ社のプリント&パブリッシングソリューション事業部担当シニアバイスプレジデントであるナリーシュグプタ (Naresh Gupta) は、「Adobe eLearning Suite は、資料作成者が表現力豊かな eラーニングコンテンツの作成、強化、レビュー、および書き出しをすべてひとつの環境で行えるように作られた、他にはない高度に統合されたツールです。さまざまなアプリケーションを組み合わせた効率的なワークフローによって、教育担当者はいつでも、どこでも、また様々なメディア向けにも革新的な体験を学習者に提供することができます」と述べています。

Adobe Captivate 4

Adobe eLearning Suite の中心である最新バージョンの Adobe Captivate 4 は、シミュレーション、シナリオベースのトレーニング、小テスト、リッチメディア、およびインタラクティブ性を備えたプロ向けの eラーニングコンテンツを作成することができる製品です。資料作成者や教育担当者に役立つ 20 種類を超える新機能が搭載されており、SWF の書き出し、テキスト音声変換、シンプルなグラフィックス作成のための作図ツールバー、拡充されたプロジェクトテンプレートのほか、Microsoft® PowerPoint® のスライドを音声およびインタラクティブ機能を保持したまま読み込み、編集することができ、PowerPoint との間でファイルをやりとりしながら連携したワークフローを組み立てることができます。また、Adobe Captivate 4 では Photoshop のレイヤーを保持することができるため、個別にアニメーションを加えることができます。さらに、PDF への書き出しや YouTube™ への公開のための AVI 出力もサポートされています。

新しい Adobe® AIR® アプリケーションである Adobe Captivate Reviewer を使用すれば、学習担当者は、使用しているオペレーティングシステムにかかわらず、レビュー担当者からの

フィードバックを収集し、それらに含まれるコメントを Adobe Captivate で書き出された SWF に直接反映させることができるため、レビュー時間を短縮化することができます。また、学習者がプロジェクトに対して行う作業に呼応して自動的にアップデートされる、カスタマイズされた目次を挿入することもできます。学習者とのやり取りをさらに高度化する機能として、カスタム編集機能によって学習者にパーソナライズされた体験を提供することも可能です。例えば、事前に学習教材の最初に学習者の氏名を入力するよう設定しておけば、Adobe Captivate 4 はその情報を自動的にすべてのスライドに反映し、コンテンツをパーソナライズすることができます。

ワークフローと統合のメリット

業界をリードするアドビシステムズ社のコンテンツ作成ツールを搭載した Adobe eLearning Suite は、単体製品では得られないワークフロー全体に対してもメリットを提供することができます。Dreamweaver CS4 CourseBuilder の拡張機能により、Dreamweaver CS4 を使用して HTML ベースの e ラーニングモジュールを直接作成することができ、また標準的なタイプの質問を使った学習評価ページも追加できます。新しい Shared Courseware Object Reference (SCORM) パッケージ機能を使えば、Captivate 4、Flash CS4 Professional、Dreamweaver CS4 および Presenter の機能をひとつの学習教材にまとめることが可能になり、教材作成の作業がさらに簡素化されます。

Adobe eLearning Suite に搭載された Soundbooth CS4 では、録音からのノイズ除去、アフレコ音声の改善、コンテンツに合わせた音楽のカスタマイズ、複数のトラック上の複数のクリップの合成などを容易に行うことができます。また Photoshop CS4 Extended には 3D 画像やモーションベースのコンテンツ編集などの機能が追加され、ビジュアルを活用し、学習者に視覚効果の高い体験を提供することができます。これらのビジュアルなど、Captivate やその他の構成製品により作成したコンテンツは、Bridge CS4 を介して容易に整理、ブラウズ、表示させることができ、Captivate 4、Photoshop CS4 および Flash CS4 Professional に直接インポートすることができます。

書き出しの準備ができたコンテンツについては SWF、HTML、PDF、AVI、および SCORM を含む複数の標準化された出力フォーマットを選択でき、Web、デスクトップ、および学習管理システム向けに容易に配信することができます。学習管理システムを利用できない場合には、Adobe eLearning Suite から Adobe Acrobat® Connect™ Pro (別売) に直接書き出すことも可能です。また Device Central CS4 では 600 機種を超えるモバイル機器画面での表示に合わせてコンテンツのデザイン、プレビュー、およびテストを行うことができます。

Adobe eLearning Suite に関する詳細情報は <http://www.adobe.com/jp/products/elearningsuite/> をご覧ください。

Adobe Captivate 4 の詳細については以下の Web サイトをご参照ください。
<http://www.adobe.com/jp/products/captivate/>

アドビストア提供価格 (送料別)

Adobe eLearning Suite (Windows 版)

■製品版	261,450 円 (本体価格 249,000 円)
■アカデミック版	118,125 円 (本体価格 112,500 円)

- 単体製品からのアップグレード版^{※1} 177,450 円 (本体価格 169,000 円)
- Adobe Creative Suite® 2.x Premium または Standard、Creative Suite 1.0 Premium または Standard、Adobe Design Bundle または Web Bundle、Macromedia Studio 8、または MX 2004 からのアップグレード版 143,850 円 (本体価格 137,000 円)
- Adobe Creative Suite 3/3.3 各エディションの Standard または Premium (Master Collection を含む) からのアップグレード版 98,700 円 (本体価格 94,000 円)
- Adobe Creative Suite 4 Web Premium または Design Premium からのアップグレード版 98,700 円 (本体価格 94,000 円)

※1 単体製品からのアップグレードの対象ユーザーは、Macromedia Captivate、Adobe Captivate 2/3/4、Adobe Photoshop CS/CS2/CS3、Adobe Photoshop Extended CS3、Macromedia Flash Professional MX2004/8、Adobe Flash CS3 Professional 日本語版の正規ユーザーです。

Adobe Captivate 4 (Windows 版)

- 通常版 90,300 円 (本体価格 86,000 円)
- アップグレード版^{※2} 45,150 円 (本体価格 43,000 円)
- アカデミック版 36,750 円 (本体価格 35,000 円)

※2 アップグレード版の対象ユーザーは、Macromedia Captivate、Adobe Captivate2/3 日本語版の正規ユーザーです。

必要システム構成

Adobe eLearning Suite (Windows 版)

- ・ インテル® Pentium® 4、インテル Centrino®、インテル Xeon®、インテル Core™ Duo クラスの 2 GHz 以上のプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ
- ・ Microsoft® Windows XP (Service Pack 2) 日本語版 (Service Pack 3 を推奨)、または Windows Vista® Home Premium、Business、Ultimate、Enterprise (Service Pack 1) 日本語版 (Windows XP, Windows Vista とともに 32-bit 版に対応)
- ・ 1GB 以上の RAM を推奨
- ・ 7.5GB 以上の空き容量のあるハードディスク。ただし、インストール時には追加の空き容量が必要 (フラッシュメモリを利用したストレージデバイス上にはインストール不可)
- ・ 1,024 × 768 以上の画面解像度をサポートするディスプレイ (1,280 × 800 以上を推奨)、および 16-bit 以上のビデオカード
- ・ DVD-ROM ドライブ
- ・ Adobe Bridge の一部の機能を使用するには、Microsoft DirectX 9 互換の 64MB 以上の VRAM を備えたグラフィックカード
- ・ GPU を利用する Adobe Photoshop Extended の一部の機能では Shader Model 3.0 と OpenGL 2.0 対応のグラフィックカードが必要
- ・ QuickTime® 機能を使用するには QuickTime 7.4.5 日本語版
- ・ Shader Model 3.0
- ・ Adobe Presenter を利用するには Microsoft Office 2003 日本語版が必要
- ・ オンラインサービス (※3) のためのブロードバンドインターネット接続

※3 ブロードバンドインターネット接続をご使用の場合、オンラインで提供される特定の機能（以下「オンラインサービス」という）を本製品から利用できる場合があります。オンラインサービス、およびその機能は、国、地域、言語、通貨によっては提供されていない場合があります。その全体または一部が予告なく中止となることもあります。オンラインサービスのご利用には、個別の利用規約およびアドビオンラインプライバシーポリシーが適用され、これらのサービスへのアクセスには、ユーザー登録が必要な場合があります。当初は無償で提供されるサービスも含め、一部のオンラインサービスには、別途料金が発生する場合があります。詳細情報および利用規約とプライバシーポリシーについては、<http://www.adobe.com/jp> にてご確認ください。

Adobe Captivate 4 (Windows 版)

- インテル Pentium 4、インテル Centrino、インテル Xeon、インテル Core Duo クラスのプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ
- Microsoft Windows XP (Service Pack 2) 日本語版 (Service Pack 3 を推奨)、または Windows Vista Home Premium、Business、Ultimate、Enterprise (Service Pack 1) 日本語版 (Windows XP、Windows Vista とともに 32-bit 版に対応)
- 512MB 以上の RAM (1GB 以上を推奨)
- 1.5GB 以上の空き容量のあるハードディスク (ただし、インストール時には追加の空き容量が必要 (フラッシュメモリを利用したストレージデバイス上にはインストール不可))
- DVD-ROM ドライブ
- 800 × 600 以上の画面解像度をサポートするディスプレイ (1,024 × 768 を推奨)

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザーの、アイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイト <http://www.adobe.com/jp> に掲載されています。